

認 定 書

国 住 指 第 2 4 7 号
令和元年 5 月 27 日

一般社団法人日本壁装協会
代表理事 安田 正介 様

国土交通大臣 石井 啓



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第 1 条第五号及び第 108 条の 2 第一号から第三号まで（準不燃材料）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
QM-0958
2. 認定をした構造方法等の名称
薬剤処理植物系繊維混紡織物壁紙張／基材（準不燃材料及び不燃材料（金属板を除く））
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

1. 材料名

薬剤処理植物系繊維混紡織物壁紙張／基材（準不燃材料及び不燃材料（金属板を除く））

2. 形状及び寸法等

項 目	仕 様
形 状	平板
表 面 形 状	(1)～(3)のうち、いずれか一仕様又は組合せとする (1)平滑 (2)粗面 (3)エンボス
表面化粧材の厚さ(mm)	5.0 \pm 0.5 以下
表面化粧材の質量(g/m ²)	2000.0 \pm 200.0 以下

3. 材料構成

項 目	仕 様
表面化粧材	<p>薬剤処理植物系繊維混紡織物壁紙</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚さ5.0\pm0.5 mm以下 ・質量2000.0\pm200.0 g/m²以下(有機質量506.0\pm50.6g/m²以下) ・構成 <ul style="list-style-type: none"> [1]化粧：(1)～(3)のうち、いずれか一仕様又は(1)と(2)の組合せとする <ul style="list-style-type: none"> ・質量1492.0\pm149.2g /m²（固形量）以下（有機質量58.0\pm5.8g/m²以下） (1)合成樹脂 <ul style="list-style-type: none"> ・構成（g/m²） <ul style="list-style-type: none"> 合成樹脂^{※1}、有機質系添加剤^{※2}、有機質系顔料^{※3} <p>…50.0\pm5.0以下</p> <p>（但し、合成樹脂としてポリエステルを使用する場合は 40.0\pm4.0 以下とする）</p> 無機質系材料、無機質系充てん材、 無機質系顔料、無機質系添加剤^{※4} <p>…0～1492.0\pm149.2</p> (2)撥水剤：①、②のうち、いずれか一仕様又は組合せとする <ul style="list-style-type: none"> ①パラフィンワックスの水系乳化体 ②フッ素樹脂 <ul style="list-style-type: none"> ・質量8.0\pm0.8g/m²（固形量）以下（有機質量8.0\pm0.8g/m²以下） (3)なし [2]主素材^{※5}：植物系繊維混紡織物 <ul style="list-style-type: none"> ・厚さ2.0\pm0.2mm以下 ・質量290.0\pm29.0g/m²以下(有機質量290.0\pm29.0g/m²以下) ・組成（質量％） <ul style="list-style-type: none"> 植物系繊維^{※6} ……50～100 合成樹脂繊維^{※7} …… 0～ 20 絹（シルク） …… 0～ 20 無機質系繊維^{※8} …… 0～ 50

項 目	仕 様
表面化粧材 (つづき)	<p>[3] 接着剤^{※5}</p> <p>(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) あり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質量$40.0_{\pm 4.0}$ g/m²(固形量)以下(有機質量$30.0_{\pm 3.0}$g/m²以下) ・構成(g/m²): 1)又は1)と2)の組み合わせとする <ul style="list-style-type: none"> 1) 有機質: ①～⑤のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> ①エチレン酢酸ビニル系樹脂 …$30.0_{\pm 3.0}$以下 (但し、有機質系添加剤^{※2}を$0\sim 3.0_{\pm 0.3}$含む) ②酢酸ビニル系樹脂 …$30.0_{\pm 3.0}$以下 (但し、有機質系添加剤^{※2}を$0\sim 3.0_{\pm 0.3}$含む) ③でん粉系糊 …$30.0_{\pm 3.0}$以下 (但し、有機質系添加剤^{※2}を$0\sim 3.0_{\pm 0.3}$含む) ④酢酸ビニル・アクリル系樹脂 …$30.0_{\pm 3.0}$以下 (但し、有機質系添加剤^{※2}を$0\sim 3.0_{\pm 0.3}$含む) ⑤アクリル系樹脂 …$29.0_{\pm 2.9}$以下 (但し、有機質系添加剤^{※2}を$0\sim 3.0_{\pm 0.3}$含む) 2) 無機質 無機質系充てん剤、無機質系添加剤^{※4} …$0\sim 10.0_{\pm 1.0}$以下 <p>(2) なし ([4] 裏打材が(2)の場合に限る)</p> <p>[4] 裏打材^{※9}: 裏打紙</p> <p>(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) あり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚さ$0.5_{\pm 0.05}$mm以下 ・質量$150.0_{\pm 15.0}$g/m²以下(有機質量$100.0_{\pm 10.0}$g/m²以下) ・構成(g/m²): 1)又は1)と2)を組合せた仕様とする <ul style="list-style-type: none"> 1) 有機質: ①、②のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> ①有機質系繊維^{※10} …$100.0_{\pm 10.0}$以下 (但し、合成樹脂繊維^{※7}とその他の有機質系繊維^{※10}を組合せて使用する場合は、合成樹脂繊維^{※7}$24.0_{\pm 2.4}$以下とし、かつ裏打材の有機質量を$80.0_{\pm 8.0}$以下とする。) ②合成樹脂^{※1, ※5}… $13.6_{\pm 1.4}$以下 有機質系繊維^{※10} … $72.0_{\pm 7.2}$以下 (但し、裏打材の有機質量を$73.0_{\pm 7.3}$以下とする。有機質系繊維^{※10}として合成樹脂繊維^{※7}と植物系繊維^{※6}を組合せて使用する場合は、合成樹脂繊維^{※7}は$1.0_{\pm 0.1}\sim 26.2_{\pm 2.6}$とする。) 2) 無機質: 無機質系充てん材^{※4} …$0\sim 120.0_{\pm 12.0}$ <p>(2) なし ([3] 接着剤が2)の場合に限る)</p>

項 目	仕 様
表面化粧材 (つづき)	<p>※薬剤処理（上記[2]と[4]に処理を行う） りん窒素ハロゲン系化合物 ・質量$28.0_{\pm 2.8} \text{g/m}^2$ (固形量) 以下 かつ [2] 主素材と [4] 裏打材の有機質量に対して$7_{\pm 0.7} \%$ (固形量) 以上</p> <p>※1：合成樹脂は、エチレン・酢酸ビニル系、酢酸ビニル系、ウレタン系、アルコキシシラン加水分解縮合物系、塩化ビニル系、アクリル系、アクリルスチレン系、シリコーン系、ポリエステル系、フッ素系のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※2：有機質系添加剤は、発泡剤（アゾジカルボンアミド系、オキシビスベンゼンスルホニルヒドラジド系）、防かび剤、エチレングリコール、有機系機能性材料のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※3：有機質系顔料は、アゾ系顔料、フタロシアニン系顔料、縮合多環系顔料のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※4：無機質系材料、無機質系充てん材、無機質系顔料、無機質系添加剤は、酸化チタン、酸化鉄、酸化亜鉛、カーボンブラック、マイカ、炭酸カルシウム、タルク、水酸化アルミニウム、水酸化マグネシウム、三酸化アンチモン、ホウ酸亜鉛、シリカ、金属（箔、粉、糸状）のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※5：アゾ系、キノン系の染料、又は有機質系顔料^{※3}、無機質系顔料^{※4}を含む場合がある。</p> <p>※6：植物系繊維は、パルプ、綿、麻、レーヨン、スフ、キュプラ、アセテート、セルロース系繊維のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※7：合成樹脂繊維は、ナイロン、ビニロン、ビニリデン、ポリ塩化ビニル、ポリエステル、アクリル、ポリウレタンのいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※8：無機質系繊維は、金属繊維系、ガラス繊維系、炭素繊維のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※9：裏打材は、紙、無機質紙、不織布 (non woven paper) のいずれかとする。</p> <p>※10：有機質系繊維は、植物系繊維^{※6}、合成樹脂繊維^{※7}のいずれか、又は組合せとする。</p>

項 目	仕 様
接着剤及びシーラー	<p>1)、2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>1)・質量$60_{\pm 6}\text{g/m}^2$(固形量)以下(有機質量$60_{\pm 6}\text{g/m}^2$以下)</p> <p>・構成:[1]又は[1]と[2]を組合せた仕様とする</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="font-size: 4em; margin-right: 10px;">{</div> <div> <p>[1]でん粉系接着剤</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質量$60_{\pm 6}\text{g/m}^2$(固形量)以下(有機質量$60_{\pm 6}\text{g/m}^2$以下) ・組成(質量%) <ul style="list-style-type: none"> でん粉のり$80_{\pm 2}$以上 補強剤^{※11}$20_{\pm 2}$以下 <p>(又は補強剤なし)</p> <p>[2]シーラー：合成樹脂^{※12}</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質量$10_{\pm 1}\text{g/m}^2$(固形量)以下(有機質量$10_{\pm 1}\text{g/m}^2$以下) </div> </div> <p>2)・質量$40_{\pm 4}\text{g/m}^2$(固形量)以下(有機質量$40_{\pm 4}\text{g/m}^2$以下)</p> <p>・構成:[1]又は[1]と[2]を組合せた仕様とする</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="font-size: 4em; margin-right: 10px;">{</div> <div> <p>[1]メチルセルロース系接着剤</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質量$40_{\pm 4}\text{g/m}^2$(固形量)以下(有機質量$40_{\pm 4}\text{g/m}^2$以下) ・組成(質量%) <ul style="list-style-type: none"> メチルセルロース$80_{\pm 2}$以上 補強剤^{※11}$20_{\pm 2}$以下 <p>(又は補強剤なし)</p> <p>[2]シーラー：合成樹脂^{※12}</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質量$10_{\pm 1}\text{g/m}^2$(固形量)以下(有機質量$10_{\pm 1}\text{g/m}^2$以下) </div> </div> <p>※11：補強剤は、エチレン酢酸ビニル樹脂エマルジョン、酢酸ビニル樹脂エマルジョンのいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※12：合成樹脂は、アクリル樹脂エマルジョン(アクリル酸エステル共重合体エマルジョン、メタクリル酸エステル共重合体エマルジョン)、エチレン酢酸ビニル樹脂エマルジョン、酢酸ビニル樹脂エマルジョンのいずれか、又は組合せた仕様、又はシーラーなしとする。</p>
基 材	<p>準不燃材料及び不燃材料(金属板を除く)</p> <p>平成12年建設省告示第1401号第1第二号から第六号に例示された準不燃材料及び告示第1400号に例示された鉄鋼、金属板、アルミニウムを除く不燃材料のうち、すでに化粧を施されたものを除くもの</p>

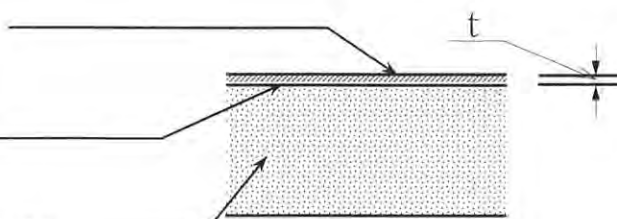
4. 構造説明図

(寸法単位：mm)

1) 表面化粧材…薬剤処理植物系繊維混紡織物壁紙

2) 接着剤およびシーラー

3) 基 材…準不燃材料及び不燃材料(金属板を除く)※



$t = 5.0$ 以下

※平成12年建設省告示第1401号第1第二号から第六号に例示された準不燃材料及び告示第1400号に例示された鉄鋼、金属板、アルミニウムを除く不燃材料のうち、すでに化粧を施されたものを除くもの